

ために利益を増大してゐるのである。一方、製鐵、化學、炭坑等の重工業を除いた輕工業（製糸、織物等の如き）は如何うかと云ふに労働者農民一般大衆の購買力が増加しないため益々經營困難となり長野縣に於ける製糸業は米國の恐慌の打撃をうけて休業するに至り近い處では久留米日本足袋工場は新舊正月に十五日間の休業をなし而も休業中に大量的に解雇するに至つたのである、また家庭工業、小賣商人等の窮乏も愈々増大しその證としては商工業者の日本商權擁護聯盟の結成をもつて反産（産業組合反對）運動が全国的に行なわれるに至つてゐる

更に農村殊に貧農小作人は土地私有制による地主の高額なる小作料の搾取、米價安、戰爭準備による租稅公課の加重によつて肥料代の支拂にも困り收穫後三ヶ月を經ては食ふ米も

ないと言ふのが全國の小作人の生活を平均した有様である、また小地主、自作農の如きも漸次没落し土地は大地主の所有となつてゐる、自作農が小作人に小作人は更に農業労働者へと没落の数は逐年増加してゐるがそれは農村の窮乏を語るものである、また農村の窮乏は争議件数の増加と共に闘争の激化によつて知ることが出来る、

左に農林省發表の昭和八年一月から九月までの争議件数を示す

争議總件数	二千六百九十件	前年同期より五百八十七件増加
土地引上	一千六百九十七件	
小作料減免	六百〇七件	
風水害	三百六十六件	
小作料滞納	二百九十七件	